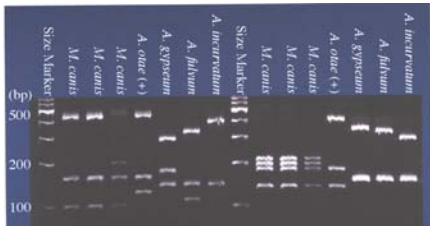


■研究者名 (所属・職名)	望月 隆 (総合医学研究所・皮膚真菌学研究部門 (ノバルティス ファーマ) 教授)	専門 分野	皮膚真菌学
■研究情報の分類	■シーズ □特許 □新製品 ■分析／解析 □調査 □他 ()		
■研究分野分類	■ライフサイエンス分野 □情報通信分野 □環境分野 □物質・材料分野 □ナノテクノロジー □エネルギー分野 □宇宙開発分野 □海洋開発分野 □他 ()		
■キーワード (日本語訳)	①皮膚糸状菌 ②白癬 ③ rRNA遺伝子		
■連絡先	▼Tel ; 076-286-2211 (内線3325) ▼Fax ; 076-286-6369 ▼E-mail ; dermat@kanazawa-med.ac.jp ▼ホームページ ; http://www.kanazawa-med.ac.jp/%7Ek-jimuka/dermato/dermato.htm	外部公開の可否 (教育学術情報管理システムに登録)	
		公開可・登録可	
■研究情報の名称	皮膚糸状菌の迅速同定		
■研究情報概要			
<p><皮膚糸状菌同定の意義> 白癬（“みずむし”や“たむし”など）の原因菌である皮膚糸状菌には、日本でよく知られているものに3属9種があります。これらは菌種によって特異的な感染原が考えられる事があり、また薬剤感受性も異なる事がある為、皮膚糸状菌の同定は臨床的にも重要な意味を持ちます。</p> <p><皮膚糸状菌の同定法> 皮膚糸状菌は従来、形態学的に同定されて来ましたが、臨床検体から分離培養された後、さらに菌種同定のためのスライドカルチャーを行うには2週間以上を要し、しかも明らかな形態学的特徴を示さない菌株もあります。そこで形態の他に、最適発育温度、栄養要求性、ウレアーゼ活性、毛髪穿孔能等を調べて確認する場合があります。また交配実験を行えば、より細かく菌種が分けられる事が知られています。</p> <p><皮膚糸状菌同定の現状> しかし、日々診療に追われる臨床家には実践困難な場合が多く、同定に苦慮した菌株は、今では日本で数カ所となってしまった真菌症に精通した大学に送られているのが現状です。ところが、設備も基準株もそろっている大学においてさえ、種の特徴を示さない菌株については同定不能となります。</p> <p>そこで現在では遺伝子による菌種同定が盛んに行われるようになって来ました。当研究部門では rRNA 遺伝子の ITS 領域を PCR によって増幅した後、得られた産物を制限酵素で切断し、その電気泳動パターン (RFLP) を比較する方法で皮膚糸状菌の同定を行っています。</p> <p><皮膚糸状菌同定の需要> 2001 年頃より柔道選手、レスリング選手の間で <i>Trichophyton tonsurans</i> による白癬が蔓延してきたため、開業医からの菌種同定の依頼が増えています。<i>T. tonsurans</i> であれば集団感染としての対策が必要となるからです。また、ペットブームにより猫からの <i>Microsporium canis</i> 感染症、ウサギからの <i>T. mentagrophytes</i> (有性世代: <i>Arthroderma benhamiae</i>) 感染症なども、増加の兆しが見られます。</p>			
 <p>Microsporium 属菌の PCR-RFLP パターン 河崎昌子: 医薬の門(2003) 19: 1423-1427 より <small>制限酵素 HaeIII による RFLP 法では既述しているパターンでも Msp I では明らかな区別がつかないため、本図では HaeIII による RFLP 法による区別が示されています。</small></p>			
■関連企業・大学・団体等	千葉大学		
■関連する特許 (申請・公開・取得等の区別)			
■関連する論文等	河崎昌子: 医薬の門(2003) 19: 1423-1427		